

音楽学習学会

第19回研究発表大会

2023年8月27日

関西学院大学

西宮上ヶ原キャンパス

～ 第 19 回研究発表大会 概要 ～

期日：2023 年 8 月 27 日（日曜日）

会場：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス H号館

（最寄り駅：阪急電鉄今津線「甲東園駅」バス約5分、「仁川駅」徒歩12分）

大会スケジュール

| | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 09:30～10:00 | 受付 H号館 3F | (301教室前) |
| 10:00～10:10 | 開会挨拶 | (301教室) |
| 10:10～12:00 | 大会講演 | (301教室) |
| 12:00～13:00 | 休憩 | |
| 13:00～13:30 | 2023 年度総会 | (301教室) |
| 13:45～17:00 | 研究発表 | (A～D 各会場) |

参加費： 正会員・非会員一般：¥3,000, 学生・非会員学生：¥2,000

懇親会： 今大会では、懇親会を計画しています。詳細はHPでのご案内・受付にて。

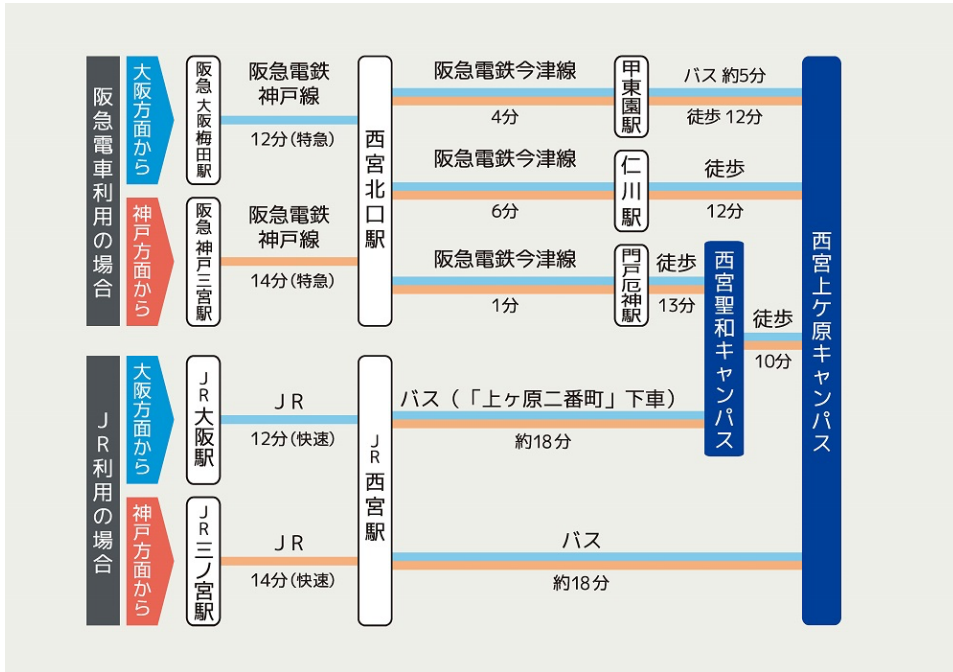
※ 昼食は、各時ご用意ください。会場周辺には飲食店はありません。
コンビニエンスストアは会場正門から100mほど離れたところにございます。

会場案内

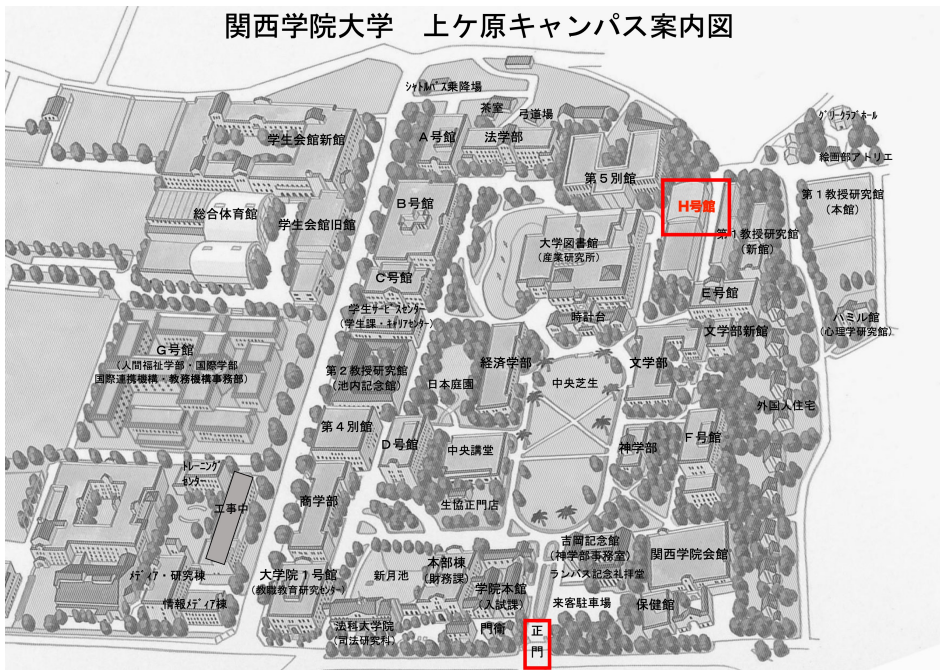
関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

アクセス案内



関西学院大学 上ヶ原キャンパス案内図



会場・アクセス図等は、関西学院大学の公式HPを元に作成しています。HPのご案内をあわせて、ご確認ください。

<https://www.kwansei.ac.jp/index.html>

※ 建替えにより、H号館の位置と形状が、上図とは若干異なることがあります。場所の目安としてご参照ください。

会場図 (H号館3階平面図)

3階



※ 301 教室前の廊下に受付を設置の予定です。

※ 305教室は休憩・談話室としてご利用いただけます。

プログラム

全大会：講演（10:10～12:00） H号館 301 教室

「太鼓文化の担い手たち一部落史の新たな視座」

講師： 太田 恭治 氏（あとりえ西濱 代表）

今回は、日本の音楽文化のひとつである和太鼓、なかでも、その作り手である太鼓職人に目を向けます。太鼓作りの歴史には、定まったものはありません。縄文期、ツボに皮をかぶせたモノがあったとされていますが、文献資料はありません。唯一の手掛かりは太鼓胴の中に刻まれた職人さんの銘と製作年です。胴の中の記録は太鼓の歴史そのものです。

また、太鼓作りの歴史は部落史研究の角度からも整理する必要があります。1970年代に始まった和太鼓演奏ブームを支えたのも部落の太鼓屋でした。

当日は「皮から革へ」「弊牛馬処理権と皮作の伝統」「太鼓の音の正体は？」「和太鼓ブームの仕掛け人」「和太鼓は楽器なのか道具なのか？」などに加え、「太鼓の音はどのように決まるのか？」など、職人さんたちの語りから太鼓の音の魅力についてもお話をいただきます。

講師プロフィール：兵庫県出身。元大阪人権博物館学芸員。現在「あとりえ西濱」代表。

主な著作

「太鼓の胴から見える部落史」『太鼓の履歴書・胴内銘文報告』解放出版社編，2019年

：服部英雄編著 地域資料叢書 16.

「四世鶴屋南北が描いた被差別民」『人権教育研究 24』花園大学人権教育センター，2016年.

「一茶が描いた被差別民(1)」『かわた・長吏』について『人権教育研究 21』花園大学人権教育センター，2013年.

「万歳師嘉四郎の近世」『大阪人権博物館紀要 10』大阪人権博物館編，2003年.

「戦前における『破戒』映画化の試み」『大阪人権博物館紀要 2』大阪人権博物館編，2003年.
など

司会： 城 佳世（九州女子大学）

2023 年度総会（13:00~13:30） H号館301教室

2023 年度 総会次第

- 議長選出

議題

1. 2022年度事業報告
2. 2022 年度決算報告
3. 2023 年度事業計画
4. 2023 年度予算案
5. 会則等の改定
6. 会計幹事の選任

報告事項

1. 学会誌編集方針について
2. その他

※ 総会をご欠席の場合は、あらかじめ学会 HP 内「大会出欠確認」より、総会委任状へのチェック入力にご協力をお願いいたします。

研究発表 13:35~16:15 (A~D会場)

研究発表会場 A (H号館 302 教室)

座長: 森 薫 (埼玉大学)

1. 批評の評価方法 —分析から批評へ—
上野学園大学短期大学部 内田 有一
2. 小中学校向けの学校合唱曲の歌詞源流に関する考察
—NHK「みんなのうた」楽曲歌詞との比較分析—
鹿児島女子短期大学 佐藤 慶治
3. 「郷土の音楽」「郷土の伝統音楽」の学習指導の実態
—全国の小中学校への調査を通して—
九州女子大学 城 佳世
4. 中学校音楽科の鑑賞授業におけるメタ認知
—他の生徒の意見をもとにしたメタ認知に着目して—
広島大学大学院 田口 有志
5. 音楽科授業での教材選択にみる教師の教育観や教材観 —教師へのインタビューを中心に—
広島大学大学院 脇田 小百合

研究発表会場 B (H号館 303 教室)

座長: 津田正之 (国立音楽大学)

1. 児童の音楽科における苦手意識・課題を教師はどう捉えているか
—『教育音楽 小学版』における語り・記述の分析を通じて—
埼玉大学教職大学院 大戸 遥香
2. 石井漠の「子どもの舞踊」の振付の特徴 —実際の身体表現の分析を中心に—
エリザベト音楽大学大学院 沖中 春志郎
3. 公立高等女学校本科における音楽科教育
—明治期に東京市で開校した3校の事例の検討—
実践女子大学 越山 沙千子
4. 音楽科教員養成課程にしながら他教科の免許を取得したことの意味
広島大学大学院 武島 千明
広島大学大学院/日本学術振興会 特別研究員(DC1) 吉田 純太郎
広島大学大学院 嶋田 亘佑
5. 音楽学習における「オーナーシップ」に関する検討 —「真正の学び」を実現するために—
埼玉大学教職大学院 上原 美宮

研究発表会場 C (H 号館 304 教室)

座長:三国 和子(名寄市立大学)

1. ペンタトニック音階を用いた従来型の創作と音楽制作ソフトを用いた創作の比較検討
梶山女学園大学大学院 浅井 柚衣
梶山女学園大学研究生 山上 京夏
梶山女学園大学教育学部 鈴木 あいり
梶山女学園大学 山中文
2. 広島大学におけるオペラ制作に携わる学習者の学びの拡大
—教育現場でのアウトリーチコンサートの企画・演奏をとおして—
広島大学 大野内 愛
伊藤 真
枝川 一也
3. 小学校の音楽クラブにおける楽曲選択に関わるネットワークの考察
新潟大学 工藤 千晶
4. 小学校音楽科授業におけるアウトリーチのあり方 —教員と演奏者の協働に着目して—
広島大学大学院 平 幸音
5. 大陸間 SDGs 教育「地球こども広場」における協働を促す音楽活動
梶山女学園大学教育学部 渡邊 康

研究発表会場 D (H 号館 305 教室)

座長 : 門脇 早穂子 (関西学院大学)

1. 教員養成課程における協調学習志向のピアノ実践への展開
—初学者段階の基礎技能習得プロセスと課題の検討—
柴田学園大学 一戸 智之
2. 視線情報と打鍵情報から分析する大学生の演奏ミスについて
—ピアノ演奏における高齢者との比較—
京都ノートルダム女子大学 古庵 晶子
公立ほこだて未来大学 竹川 佳成
公立ほこだて未来大学大学院 能登 楓
3. 即興表現を促す幼児の音楽活動のプロセス
就実大学 小林 佐知子
4. 保育者養成におけるリミック指導の内容—理論と実践の配分に着目して—
茨城キリスト教大学 佐藤 真紀
5. 保育者養成校に於ける「弾き歌い」に重点化した指導に関する一考察
千葉敬愛短期大学 股木 裕美子
6. 手指に不具合がある成人のピアノ学習 —より有効な練習法の開発のために—
大人のピアノ研究会 三上 香子

研究発表要旨

| | |
|----------------------|----------|
| 研究発表 A 302教室 | pp. 9-13 |
| 研究発表 B 303教室 | pp.14-18 |
| 研究発表 C 304教室 | pp.19-23 |
| 研究発表 D 305教室 | pp.24-29 |

発表要領

- 発表 : 20 分間, 質疑応答 : 5分間, 発表者交替・準備 : 5分間
円滑な進行にご協力お願いいたします。
- 会場には, PC 用のプロジェクター, スクリーン, 音声のスピーカー出力の
準備があります。PCと会場機器の接続はHDMI端子となります。
- 機種それぞれに異なる接続アダプター等は, 発表者ご自身でご準備下さい。
また, 昼休みの時間に, 各会場にて機器の動作確認を願います。
- 当日の配付資料がある場合は, あらかじめ印刷の上, ご持参下さい (例
年, 多くて1発表につき 30部程度です) 。